【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公開番号】特開2007-56179(P2007-56179A)
【公開日】平成19年3月8日(2007.3.8)
【年通号数】公開・登録公報2007-009
【出願番号】特願2005-245330(P2005-245330)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｆ 220/20　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　7/04　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　33/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ 220/20
Ｃ０８Ｊ　7/04　ＣＥＹＰ
Ｃ０８Ｌ　33:04

【手続補正書】
【提出日】平成20年7月16日(2008.7.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
成分（Ａ）の脂環骨格２官能（メタ）アクリレート系化合物としては、上記一般式（１）で示される構造のものであればよく、R_1はアルキレン基、好ましくは炭素数１～４のアルキレン基、より好ましくはメチレン基又はエチレン基であり、Ｘは水素又はメチル基、好ましくはメチル基であり、ａは１又は２、ｂは０又は１である。これらの脂環骨格２官能（メタ）アクリレート系化合物は、脂環骨格を有するため樹脂成形体の低吸水率化に寄与する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３４】
＜実施例１＞
［光重合性組成物の調整］
ビス（ヒドロキシメチル）トリシクロ[５．２．１．$0^{2,6}$]デカン＝ジメタクリレート（Ａ）（新中村化学社製「ＤＣＰ」）６０部、ペンタエリスリトールテトラアクリレート（Ｂ）（新中村化学社製「Ａ－ＴＭＭＴ」）４０部、ペンタエリスルトールテトラキスチオプロピオネート（Ｃ）（淀化学製「ＰＥＴＰ」）３部、１－ヒドロキシシクロヘキシルフェニルケトン（Ｄ）（チバガイギー社製「Ｉｒｇａｃｕｒｅ１８４」）２部を、均一になるまで撹拌し、光重合性組成物を得た。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００４１】
【表１】

（光重合性組成物）

	成分（A） 脂環骨格２官能メタクリレート系化合物 （配合量）	成分（B） 脂肪族４官能アクリレート系化合物 （配合量）	成分（C） ４官能メルカプタン系化合物 （配合量）	成分（D） 光重合開始剤 （配合量）
実施例１	ＤＣＰ　（６０部）	Ａ－ＴＭＭＴ　（４０部）	ＰＥＴＰ　（３部）	ＩＲＧ（２部）
実施例２	ＤＣＰ　（５０部）	Ａ－ＴＭＭＴ　（５０部）	ＰＥＴＰ　（３部）	ＩＲＧ（２部）
実施例３	ＤＣＰ　（７０部）	Ａ－ＴＭＭＴ　（３０部）	ＰＥＴＰ　（３部）	ＩＲＧ（２部）
実施例４	ＤＣＰ　（６０部）	ＤＧＴＡ　（４０部）	ＰＥＴＰ　（３部）	ＩＲＧ（２部）
実施例５	ＤＣＰ　（６０部）	Ａ－ＴＭＭＴ　（４０部）	ＰＥＴＧ　（３部）	ＩＲＧ（２部）
比較例１	ＤＣＰ（１００部）	—	ＰＥＴＰ　（３部）	ＩＲＧ（２部）
比較例２	—	Ａ－ＴＭＭＴ（１００部）	—	ＩＲＧ（２部）
比較例３	脂肪族２官能メタクリレート：ネオペンチルグリコールジメタクリレート（６０部）	脂肪族多官能メタクリレート：トリメチロールプロパントリメタクリレート（４０部）	—	ＩＲＧ（２部）
比較例４	ＤＣＰ（４０部）	Ａ－ＴＭＭＴ　（６０部）	ＰＥＴＰ　（３部）	ＩＲＧ（２部）
比較例５	ＤＣＰ（８０部）	Ａ－ＴＭＭＴ　（２０部）	ＰＥＴＰ　（３部）	ＩＲＧ（２部）
比較例６	ＤＣＰ（６０部）	Ａ－ＴＭＭＴ　（４０部）	ＰＥＴＰ　（３部）	ＩＲＧ（２部）
比較例７	ＤＣＰ（６０部）	Ａ－ＴＭＭＴ　（４０部）	—	ＩＲＧ（２部）

注）ＤＣＰ：ビス（ヒドロキシメチル）トリシクロ［５．２．１．$0^{2,6}$］デカン＝ジメタクリレート（新中村化学社製「ＤＣＰ」）
Ａ－ＴＭＭＴ：ペンタエリスリトールテトラアクリレート（新中村化学社製「Ａ－ＴＭＭＴ」）
ＤＧＴＡ：ジグリセリンテトラアクリレート
ＰＥＴＰ：ペンタエリスルトールテトラキスチオプロピオネート（Ｃ）（淀化学製「ＰＥＴＰ」）
ＰＥＴＧ：ペンタエリスルトールテトラキスチオグリコレート（Ｃ）（淀化学製「ＰＥＴＧ」）
ＩＲＧ：１－ヒドロキシシクロヘキシルフェニルケトン（チバガイギー社製「Ｉｒｇａｃｕｒｅ１８４」）

JP 2007-56179 A5 2008.9.4